



TOTTORI  
YOUNG  
ENTREPRENEURS  
GROUP

発行: 令和7年6月15日  
鳥取商工会議所青年部  
広報委員会

**鳥取商工会議所青年部通信**

# 6





作業前確認をする様子



集まったメンバー

### 袋川鯉のぼり掲揚・撤去作業

令和7年4月26日(土)および5月10日(土)に、袋川沿いで鯉のぼりの掲揚・撤去作業を実施しました。春の訪れとともに袋川を彩るこの風景は、地域の風物詩として毎年多くの市民の皆さまに親しまれております。今年も色とりどりの鯉のぼりが春風を受けて元気に泳ぐ姿を見せました。

掲揚・撤去作業当日には、五青協のメンバーに多数参加いただき、地域一体となって作業を終えることができました。本事業は、これまで粟嶋道と会長率いる「袋川をはぐむ会」によって長年にわたり継続されてこられた事業であり、地域の子どもの健やかな成長を願う想いが込められています。令和7年度より、その意志を五青協が正式に引き継ぎ、鳥取YEGとしても本事業の運営を担うこととなりました。今後も鳥取YEGとして地域の伝統を守り、子どもたちの健やかな成長と地域の絆を深める活動として継続してまいります。多くの皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

まち興し委員会 委員長 荒川 恵介



集まったメンバー



集まったメンバー

### 2025井因幡千本桜フォトコンテスト

3月20日から4月30日までの期間、鳥取市「桜の園」にて毎年恒例となっている因幡千本桜フォトコンテストが開催されました。このコンテストは我々鳥取YEGが桜の名所を作りたいという想いから植樹を行い作り上げた桜の園という素晴らしい場所を地元の皆様に周知し、より親しんでもらえるようにと始めたものです。

今年度は開花時期が早まる事もなく、4月の第1土曜日から第2土曜日までが満開となり多くの方々で賑わっていました。我々広報委員会は、このコンテストへの参加を促すチラシ、ポスター配りを行い、それと並行しながらこの桜の園やフォトコンテストへのアンケートを行わせていただきました。今年度は前年度よりも多くの投稿、アンケートが得られ、現在の桜の園への認知度やフォトコンテストへの期待度など貴重なご意見を頂きました。これらをまとめて6月例会での表彰式、アンケート結果発表へと向かい、来年度へ繋げていけたらと思っております。

広報委員会 委員長 三橋 章弘

鳥取YEGでは

鳥取を盛り上げる方募集中!!

鳥取YEGは、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張りませんか?! 企業と地域を活性化させましょう! お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0857-32-8004

(鳥取商工会議所青年部 事務局)

### 新入会員



木戸 和浩 君  
(きどかずひろ)  
事業所名 ㈱木戸建築  
所属委員会 会員増強委員会



尾崎 綾香 君  
(おさきあやか)  
事業所名 ㈱RASPAC  
所属委員会 ビジネス委員会

### 令和7年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部 会長 **民野 泰稔**  
株式会社 三協商会

新緑がまぶしく、田畑には恵みの雨が潤いをもたらす季節となりました。6月は、心身ともに変化の多い時期でもありますが、こうしたときこそ青年経済人としての学びとつながりを大切に、地域の未来に向けて一歩一歩、力強く歩みを進めてまいります。今後とも、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、去る4月25日(金)、東京會館にて開催されました「日本商工会議所青年部令和7年度全国会長会議」に出席してまいりました。全国416単会が一堂に会し、日本商工会議所会頭・小林健様のご講演を拝聴し、「会員増強について」のグループディスカッションでは、各単会の現状や取り組みを共有する貴重な機会となりました。全国に頼もしい仲間がいるという心強さを改めて実感し、鳥取YEGをさらに発展させたいという思いを強くいたしました。

翌4月26日(土)には、「鳥取城跡中ノ御門 完成記念開門式」が盛大に開催され、多くの来場者で賑わいました。鳥取YEGも双隊として参加し、今後さらに鳥取城跡との関わりを深め、地域の魅力向上に貢献していきたいと感じました。

同日および5月10日(土)には、袋川

にて鯉のぼりの掲揚・撤去作業を行いました。今年度からは、県東部の青年経済団体が持ち回りで実施することになっております。今後も袋川に多数の鯉のぼりを掲げ、まちの賑わいづくりに寄与できればと考えております。

また、5月14日(水)には、まち興し委員会主催による例会を開催し、公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター長・吉永郁生様を講師にお迎えしました。「『海洋生態学が考える鳥取』をテーマに、鳥取の「人口動態」や「高度人材の育成」、「地域資源の活用」についてご講演いただきました。新たな視点で地域課題を捉えることの重要性を学び、ポジティブな発想へと転換するヒントを得られる有意義な機会となりました。

そして5月17日(土)には、「令和7年度中国ブロック春の会長会議」に出席してまいりました。ビジョン策定について学んだ後、各単会に分かれてグループディスカッションを行い、災害時における支援物資の提供体制や優先順位などについて活発な意見交換がなされました。普段は意識する機会が少ないテーマではありますが、有事の際の備えの重要性を改めて認識いたしました。また、各単会の特色ある事業や取り組みについても共有され、規模や地域によって異なる課題や可能性について理解を深める機会となりました。

全国、そして中国ブロックの多様なまちや人々と触れ合うなかで、鳥取への愛着と誇りを持った市民づくりに一層尽力してまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

### 5月まち興し例会

令和7年5月14日(水)、鳥取商工会議所大会議室にて、令和7年度5月まち興し例会「『海洋生態学が考える鳥取』をテーマに」を開催しました。当日は、農学博士として水産学を基盤とした地域創生の研究に取り組みされておられる公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター長の吉永郁生様を講師にお招きし、ご講演いただきました。講演では、日本や世界の人口動態を生態学的視点から読み解き、人口である鳥取こそが将来の持続可能な社会の先進モデルになり得ると見解され、人口減少や高齢化を否定するのではなく、自然な流れとして受け入れた上で、地域がどう適応していかなければならないのかを示されました。また、歩道や公共交通といったインフラ整備を含む安心・安全で暮らしやすい環境づくりや、都会では得がたい経験ができる場の創出が、今後のまちづくりにおける重要な要素であることを学ぶ機会となりました。「まちは皆でつくる」「人口が少ないことはリスクではなく強みである」といった吉永様の言葉には、大変感銘を受けました。

例会アンケートでは、「今後の施策に活かせるヒントがあった」「固定観念が覆された」「今後のまちづくりを前向きに考えるきっかけになった」など多くの前向きな声寄せられ、大変有意義な例会となりました。本例会での学びを活かし、鳥取YEGとしてより地域に根差した幅広い事業を展開してまいります。

まち興し委員会 委員長 荒川 恵介



吉永氏の講演の様子



5月まち興し例会の様子